

南会津新そばまつり

10月7日8日の二日間、御蔵入交流館で第十回目となる南会津新そばまつりが開催されました。福島県で一番早い新そばまつりです。会場の御蔵入交流館駐車場には多くの人が訪れ、打ち立て、茹でたての新そばを楽しみました。車のほか、雄大な自然の中、バイクで訪れた方も多く、会場はにぎやか。今年も1万2千食以上売り上げました。

高校生も活躍しました。田島高等学校茶道部は野点でお客様をもてなしました。ステージでは田島祇園祭屋台歌舞伎や田島吹奏楽団が上演や演奏で会場を盛り上げました。



八つのそば団体がそばを提供

南会津町各地域からは、4つのそばの会が出店しました。会津田島御蔵入そばの会、たていわ裁ちその会、多々石そば道場、そば工房竹林です。毎年参加している下郷町、小野町に加え、檜枝岐村と只見町からの参加もあり、合わせて8つのそばの会が出店しました。そば打ちでは、榎葉町で被災した山内さんも応援に訪れていました。「新そばを打てるのはしあわせ」と話していました。



地酒で乾杯

10月1日は日本酒の日です。全国で日本酒にかかわるイベントが行われました。南会津町では、新庁舎前で、地酒や地元食材のふるまいが行われました。会場には200人以上の人が訪れ、仲間と共に地酒を味わっていました。

南会津町ではH25年に乾杯条例を定め地酒を飲んでいただくための啓発を行ってきました。各酒蔵では全国新酒鑑評会で毎年賞を取るなど、地酒は、全国的に有名になっていきます。この日は酒造りの道具などの展示もおこなっていました。



種をまいて歌を楽しむ うたたね

10月14日、南郷スキー場で、第4回南郷うた★たねフェスが開催されました。第二グレンデでひめさゆりの種が手渡され、幼児から大人まで約70名の参加者とスタッフが種まきをしました。多くの参加者は「自分のまいた種が花を咲かせるのを見に来たい」と話していました。たねまき後、第二グレンデでライブも開催されました。



防災訓練で連携を確認

9月1日は防災の日です。南会津町では、防災計画に基づき、防災訓練を行っています。今年度は10月14日、御蔵入交流館周辺で実施されました。訓練には地域消防団、広域消防、東北電力、自衛隊、地域住民など多くの団体が参加しました。

訓練は震度6強を記録する地震が発生したとの想定で始まりました。災害対策本部を設置し、情報に関係者や地域へ伝達します。

消防団には火災などの情報がメールで届きます。地元消防団は、水利が遠い場所からの消防ポンプのリレー訓練を実施しました。200m以上離れている水路から数台のポンプ車や小型ホースをリレーし、放水しました。

東北電力では倒木が原因の停電からの復旧訓練、消防本部は倒壊した建物から負傷者を救出する訓練、周辺住民は避難訓練や消化訓練を行いました。

自衛隊も展示や炊飯で協力しました。最大で250人分のコメを炊くことが出来る炊飯車では実際に炊飯を行い、赤十字奉仕団の団員らがおにぎりを作る炊き出し訓練を行いました。

訓練では、技術のほか、情報の共有や連携と、多くの確認をすることが出来ました。

